



残暑お見舞い申し上げます。7月29日の小林市教育フォーラムにおきましては、SSCシステムのアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。集計結果とみなさまのご質問や要望等への回答をさせていただきます。

## 1 全体集計結果

小中学校教職員の有効回答数145名（小学校教職員82名 中学校教職員63名） ※小数点以下四捨五入

	必要度が非常に高い			必要度が高い			必要度が高くない			必要だと思わない			分からない・無回答		
	全体	小	中	全体	小	中	全体	小	中	全体	小	中	全体	小	中
教材教具共有	23%	28%	16%	63%	59%	70%	10%	11%	8%	0%	0%	0%	4%	2%	6%
学校図書情報共有	28%	34%	21%	58%	54%	63%	9%	7%	11%	3%	4%	2%	2%	1%	3%
こすもす科資料共有	40%	39%	41%	50%	49%	52%	6%	7%	3%	0%	0%	0%	4%	5%	3%
校務情報共有	37%	40%	32%	46%	39%	56%	11%	13%	8%	2%	2%	2%	4%	5%	3%
児童生徒情報管理	44%	46%	41%	34%	29%	41%	15%	17%	13%	4%	5%	3%	2%	2%	2%
アンケート集計	35%	38%	32%	46%	40%	54%	13%	16%	10%	2%	2%	2%	3%	4%	3%

## 2 学校間ネットワークシステムに関する質問・要望等

### 教材教具情報共有システム

Q：学校間の貸借で責任（故障など）も心配ですが、備品が少ないのでこのシステムは助かります。統一した借用書などあれば便利です。（小）

A：借用書等統一した様式やルールづくりを進めます。

Q：楽器などの情報共有システムがあり、貸し出しができるといいと思います。（中）

A：楽器も含めてシステムを構築します。

Q：使用教材教具について、どの学校においても時期が重なるので自校に教材教具がないと活用しづらい。（中）

A：使用時期が重ならない、あるいは学校間調整ができる備品については共同利用ができると考えています。

Q：教材教具共有システムについては市に1台あればよいもの、例えば学校沿革誌に添付する文字をパソコンで作ってはれる機械。野尻町は役場の教育課にあるがそのようなものをSSCで揃えてもらえるとありがたい。（小）

A：いろいろなアイデアをいただきながら検討していきたい。

Q：教材や図書については写真付き（外観・中身）だと見やすいと思います。また使い方も分かるとうい。（中）

A：セット物等については画像の添付を検討します。また、新しく購入する備品については画像を添付する方向で検討します。ただし、図書については作業が膨大になりますので、インターネット上の図書情報とリンクしていきたいと考えています。

Q：理科の薬品を共同購入してほしい。年間少量しか使わない薬品でも500gを単位として購入している。例えば年間10gしか使わないければ50年分です。そのうち劣化してまいります。（中）

A：薬品の種類、保管場所、配付方法等について調査します。ご協力をお願いします。

### 学校図書情報共有システム

Q：広い視野で効率的なシステムで現場もかなり助かり、ひいては子どもにとっても+になっていると思います。しかし学校図書情報教材共有システムについては疑問を感じます。このような活動システムは市立図書館等が本来実施すべきではないかと思ひますし、本校図書館は古く、冊数も少なく環境はよくありません。担任も多忙です。（小）

A：図書を回覧するというのではなくて、必要な図書情報を検索して、学校間で相互利用していくシステムと考えています。

### こすもす科指導資料共有システム

Q：今年度実施されるこすもす科については、資料やワークシート等、情報があるとよいと思います。（中）

A：市の教育研究センターと協力して資料の掲載等を進めていきたいと考えています。

Q：こすもす科はゲストティーチャー一覧があるとよいと思います。（小）

A：教育委員会と連携して取り組みます。こすもす科に限らず人材情報については充実を図っていきたいと考えています。

## 3 学校サポートシステムに関する質問・要望等

### 校務情報共有システム

Q：教育課程作成システムはできますか？（小）

A：時数管理等、今後システムの拡充を予定しています。

Q：スケジュールとして手元におく資料（出張の日時・場所等）はプリントすることにならないのですか？（小）

A：ケースバイケースで必要なものは出力することになると思います。

Q：教えたり、（行事を）実施する際、自分の手許にプリントしたものがほしい。（小）

A：一人一台のパソコンを前提としたシステムですが、ペーパーでの配付が必要な場合もあると思います。

Q：誰が入力するのか、大変な作業では？（小）

A：今まで教務主任等が別々に作成していた日案、週案、月行事等が一元化できますので、入力の手間が大幅に削減されます。また、不審者対応の厳正を期するためにも、来校者情報については、各担当者が随時入力していくことが必要になります。

## 児童生徒情報管理システム

Q：要録様式Ⅱもコンピュータ出力にできないのでしょうか？（小）

A：指導要録を電子情報として管理できるよう学校管理規則を改正することが必要です。さらに、データを厳正に管理するシステムが必要であり、現時点では難しいと思われます。

Q：個人情報漏洩等は大丈夫なのですか？（他同質問4件）

A：個人情報保護のセキュリティの万全を期するため、パスワードやデータの暗号化で対応していきます。

Q：名簿作成については、正しい文字の名前、住所の確認を担任もする必要があると思う。（小）

A：データの正確性については、必ず担任に確認してもらうことになります。

Q：指導要録の他にも、健康診断票の氏名、生年月日、性別なども自動的にはいれるようにしてほしい。（中）

A：優先順を考慮しながら、検討していきます。

## アンケート集計システム

Q：様々な機関からのアンケートも集計してもらえるのですか？（小）

A：アンケート用紙をマークシート形式に作り直して実施できれば可能です。

Q：回答用紙がA4だと、ランドセルに入れて帰ると曲がってしまう。B4でも作れるようになってほしい。（小）

A：システムがA4限定（複数ページは可）となっています。用紙を軽く二つ折りにしても大丈夫です。

Q：携帯電話でアンケートや保護者の出席確認等をweb上で行い、集計をPCにさせるシステムができると思います。（小）

A：アイデアをありがとうございます。ただ、携帯電話所持率は100%でないため、現時点では難しいです。

## 4 その他のSSCシステムに関する質問・要望等

Q：システムを早く学校現場に。文書閲覧忘れが心配。アナログ的な作業のまま残したい部分もある。（小・中）

A：一人一台パソコン導入の準備が進められています。校内LANの環境が整えば、全員閲覧することができ、スピード性も増します。回覧文書等を未読かどうかチェックを入れるようにし、閲覧忘れを防ぐよう工夫します。全てをデジタル化するわけではなく、職員間のコミュニケーションはこれからもずっと必要不可欠です。

Q：作品募集一覧表は大変助かる。しかし、募集文書の整理が煩雑。募集一覧の7月21日に配信は遅い。（小）

A：作品募集一覧は、募集要項文書もPDFで載せており、見たい文書を見られます。学校に届いた作品募集の文書はダンボール箱に保管しておき、作品募集一覧表の中から、どの募集に応募するか取捨選択を各学校でして頂いて、選択したもののだけ文書を箱から取り出すという方法もあります。なお、7月21日は配信日ではなく、最終更新日のことです。

Q：どの学校の子どもでも平等に教育を受けられるような予算配分をお願いします。（小）

A：文科省研究委託事業「学校予算の効果的な配分・活用方法に関する調査研究」で、学校予算の標準的な運営費について研究をすすめています。

Q：集金システムに、名札の購入等、細かい集金も含めて対応できないか。（小）

A：小林小学校と小林中学校では、各種徴収金の年間徴収計画に基づき月々の集金額を設定し、世帯単位でとりまとめて集金しています。徴収金の取扱いは学校によって異なりますが、校内での工夫・改善の余地があるのではないのでしょうか。

Q：事業型予算要求システムにより時間的な負担を感じる。簡略化できないか。（小）

A：負担にならないよう夏休み期間中に実施しておりますが、先生方の要望や考えを十分にお聞きして、予算に反映させることが目的です。ご理解いただくようお願いいたします。

Q：各学校に必要な図書を常備した上で、SSC文庫回覧システムを運用するのが本来的ではないか。（不明）

A：各小学校の図書費の一部をSSC文庫に充てているのではなく、全体の予算の一部をSSCに配分しています。よって、学校図書館の充実のために、各学校で図書費を予算化することができるようになっていきます。

Q：学校支援人材活用システムの人材登録はどのように行っているのか。（その他）

A：各学校の活用実績の有る方を登録しています。各種団体との連携を図っていきたくと考えています。

Q：文書情報共有システムで、提出文書もそのまま電子情報として送れるようにしてほしい。（中）

A：必要に応じて、市教委への提出文書をデータで送れるシステムを考えています。

Q：外国語活動指導資料共有システムを作してほしい。（小）

A：アイデアをありがとうございます。検討します。

Q：SSC文庫を中学校でも回覧してほしい。（中）

A：検討します。

Q：野尻町との合併後のSSCの運用はスムーズに移行できるのか。（小）

A：そのようにしたいと思っています。

Q：旅行命令書をパソコン入力できるようにならないのか。（中）

A：その方向で検討を進めています。

Q：パソコンに不慣れな者には困ることが多い。慣れるまで時間が掛かる。（小・中）

A：誰でも使える簡単なシステムづくりに取り組んでいます。



## <先生方からの激励の言葉>

☆広い視野で効率的なシステムで現場もかなり助かり、子どもにとってもプラスになっている。（小）

☆SSC文庫ほか小林市の子どもたちのためにご苦労されながら実践していただいていることをありがたく思う。（小）

☆仕事の軽減化が図れることに感謝、ありがとうございます。（小）

☆SSC文庫を子どもたちは喜んで読んでいます。ありがとうございます。（小）

☆すばらしいシステムだと思う。今後とも様々な形で利用させて頂きたい。（中）

☆大変すばらしいシステムで感動した。これぞ「教師・学校のためのシステム」だと思う。十分に活用したい。（中）

☆とてもすばらしいシステムなので、校内LANを早く整備して教室で利用したい。（小）

☆ぜひ活用したい。いい情報をありがとうございました。（小）いつも感謝している。大変ですががんばってください。（小）

☆こすもす科の資料などまだ少ないので、システムがしっかりしていると活用できて良い。学担の事務的作業が軽減され、子どもと向き合う時間が取れて良い。（中）